



# ふたなりサンタちゃんでおお!

FUTANARI & SHOKUSYU FAN BOOKS

R-18





ふたなりサンタちゃんてゆお!

## サンタちゃん登場人物



ミサちゃん

まだ新人の若いふたなりのサンタクロース。性格はおおらかで明るい、自分がふたなりである事には劣等感を持っている。ふたなりであることは少し前までは社長だけが知っていた事だったが、過去の事件から先輩のメサイアも知る事となった。

淫獣（触手）に襲われてしまった事で、これまでまだ一度も配達が出来ておらず、今年こそはきちんと配達を…とは思いつつも、淫獣に襲われた時に味わった快樂が忘れられず、虜になってしまっている。



メサイアさん

ミサ達の先輩で、ベテランのサンタクロース。ふたなりではないノーマルのサンタクロース。普段は無口で怖い人間だと勘違いされることがあるが、実際には気が小さくて大人しい。努力でカバーしてはいるが、実際には不器用でおっちょこちょいでポカミスをする事もある。

実はミサのふたなりの事実に気がついてからは、態度には出さないものの、可愛い後輩に犯されたいという願望を心の奥底に抱くようになっている。



ノエルくん

ミサより少しだけ先輩だが、まだ未熟な若いサンタクロース。見た目は女の子だが実は男。普段から女装して生活し、立ち振る舞いも女性であるが、女性であるミサに恋心を抱いている。内向的で冷静な性格で、新人ながら堅実に仕事をこなしている。



グラハム

サンタちゃん達三人を雇っているホシノ運送の社長。種族はドワーフで、昔は落ちぶれた罪人であった。地下に幽閉され、コロシウムで戦う闘士としてどうにか生き抜いていたが、最終的には勝者となり、自由の立場を取り戻す。それからは過去の己の行為を悔いて、サンタに転向し、子供たちに夢を届ける仕事につくことになる。厳しくもサンタちゃんたちを親心を持って支えている。

### 淫獣（触手生物）

闇の世界から現れる謎の生物たち。人間や人型種族の体液や精神をエネルギーとして生息する異形の生物。多くは名前のおり獣程度の知能しかなく、理論的、組織的には行動しない。人間の持つ負のエネルギーを基本的な行動エネルギーとしており、例えばクリスマスの場合には、クリスマスを恨む寂しい独り者などのエネルギーを受信して活動が活発になる。

そのため、丁度そのクリスマス時に配達のために行動するサンタ達の天敵となっている。



一度目の事件から  
オナニーが  
止められなくなっ...



二度目の後からは...

自分の手では  
達せられなく...



どうしよう私  
このままどんどん  
欲求不満になって…

もしまたあの触手に  
犯されたら  
もう今度は…

07

だめっ だめだめ!  
何を考えてるのッ!?

私まだ戦うの弱いから  
社長や皆に迷惑ばかり  
かけて!!

まだ一度も  
プレゼントの  
配達もできないで…

ど…どうしよう  
このままじゃ私ッ!!

はぁっ  
はぁっ  
はぁっ

はぁっ  
はぁっ  
はぁっ

はぁっ  
はぁっ  
はぁっ

はぁっ  
はぁっ  
はぁっ

はぁっ  
はぁっ  
はぁっ

はぁっ  
はぁっ  
はぁっ

12月24日ー  
クリスマス・イブ  
ホシノ運送事務所

はあ...

はあ...♡

き...今日こそ  
きちんとプレゼントを  
届けたい...

でもっ...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

だ...だめっ

なんで  
こんなに...

ミサ 大丈夫か  
無理そうなら  
ワシが代わりに...

わくッ...



だっ 大丈夫です  
社長ッ…!!

今度こそきちんと  
出来ますから



……



ミサッ!!

ばっ  
っ  
っ

は…はい



ミサ…

こっちを  
向きなさい

え…??





メサイア…

はい

今日はミサの  
バックアップを頼む  
君の分の配達は  
ワシがやっておく



ええっ  
しかしそれでは  
社長が!?

心配なんじゃ ミサの事が  
明らかに今日も様子が  
変じゃったし  
淫獣達にも目をつけられて  
いる可能性がある

本当は今日だって  
行かせたくはない



それなら  
無理にでも  
止めれば…

**ワシはあの子に  
「サンタを諦めろ」  
とは言えんツ!!**



これはワシの我儘  
かもしれない…でも  
叶えてあげたいんじゃ  
あの子の夢を…

それは…  
私だって  
ミサには…

わかりました

キサの  
バックアップは  
私に任せてください

キッ...

で...貴方が  
捕まっちゃ  
しょうがないわよね

しかし それから  
数時間後  
メサイアは敵の手に  
堕ちていたのだった

情けない  
ミサを追う筈が  
追いつく前に  
不意を...

ふふっ

くっ...



そこから少し  
時は戻り  
出発直後の  
ミサちゃんは…



はぁ♡♡

はぁ♡♡



こんな事に  
負けてちゃ  
ダメなのに私…

気持ちいい！  
よおお♡♡

あゝあゝ

どうにかして一度  
スッキリしないと  
もう動けない…

今日こそちゃんと  
仕事する  
つもりだったのに…



駄目だ…  
やっぱり思い出して  
配達どころじゃあ…



カサッ

何？



でも良かった  
こんな相手なら  
私だって負けない



淫獣!?  
こんな所にも...

ギイ!

ギイ~~~~ツ

がさっ



早く排除して  
配達に...

ウア~~~~

.....



こんな相手  
すぐにでも簡単に

.....  
凄い口...きつと  
あれでおちんちん  
から精液を

アバア!

ビク~~~~♡

ドキ~~~~♡

ビク~~~~♡

グホッ~~~~

グホッ~~~~

あ、あの口なら  
きつと...

ビク~~~~♡





これえッ...!!  
この感触...ッ!!

これえッ...

ああ...



気持ちいい所  
探って当てて  
来るッ...!!



凄いつ!  
中で複雑に  
動いてッ...



ああ射精るうッ...

イクウウウ  
ウラウッ



えええッ!?

ぐばッ...

あえっ?



えっ...何?

もう少しだったのに どうしてッ!?



ふえッ!?



ダメッ...

もうヌルヌル 滑るばかりで 自分でしても刺激が... 刺激が足りない...

ぬる♡

ぬる♡

プリン...

プリン



ぎゃーおーおー♡

じゅんじゅん♡

ああ来たあ♡  
それええ♡



あッあッ♡  
イワッ♡

い...♡  
イグッ♡



ぎゃーおー♡

こいつ...  
何かおかしい

淫獣なら皆  
精液が目的で  
襲ってくる筈

なのに  
何でッ...



かほ♡  
エッ♡

えッまたあッ!?  
そんなあッ!?

ビクッ♡



いつの間に—

うそっ

グアッ

グボッ



はっ



ハア

ハア



モゴ

モゴ

夢中で全然  
気がつかなかった

でも：  
こんな弱い相手なら  
この数でも：



何…これえッ!?

やだっ…

バトオッ



あッ

えッ!?

トッ  
フッ  
ツ

ツ  
ツ  
ツ



ぶぶっ

あれっ!?

鳥モチみたいに  
ネバネバして

ギョウッ

動けない!?



あらあら まだ  
こんな小さな可愛い  
サントちゃんか

こんな所で  
オナニーに夢中  
なんて



いけない  
娘ね…

ワスッ…

TO BE CONTINUED...

## サンタちゃんシリーズ設定

### ■ 淫魔(ステラ) ■

淫獣(触手生物)たちを束ねている指揮官的な存在として今作から登場するのがこの淫魔である。

自ら手を下すことよりも淫獣たちを巧みに操る事を好み、直接的ではなく、間接的に人間や天使を誘惑し、自分達の糧にしようと迫ってくる。

いわゆるサキュバスの敵キャラの位置づけだが、デザインがボンテージ+悪魔デザイン寄りではなく、ゴシック寄りなのは、現代の人々の性癖に合わせた変化だと思われる。



## 後書き (いいわけ)

お久しぶりです&はじめましてDAWYです。こんな所に後書きです。

えっと、まずは言い訳からさせていただきます。後書きに言い訳というのも、ダメな同人誌の典型ではありますが。

今回の内容についてですが、これまでと違い一話完結でない長編か中編くらいの作品のオープニングという位置づけとなっています。そのせいでスローテンポでお話が進み、特に又キどころもなく終わってしまうという残念な感じになってしまいました。

同人誌というのは流通の観点や作品間のスパンを考えても一冊で完結しているのが理想だと思います。自分も読者なら一冊でスカッと又けるエロ本がベストだと思っています。しかし作り手側になると…、今までと違う変わった事をしたいという、いやらしい欲望が邪魔をするわけです。このっ、ダメテンポがッ！

もうちょっと長く描くとか、前半のネーム構成をつめるとか、やり方はあったと思うんですが、実際にはこうなってしまったという所です。話自体は予定通りに展開してるのですが、もう少し先に進んでおきたかったなあという後悔が残ります。内容に関しては申し訳ないという気持ちです。手間自体は今まで一番かけた作品なんですが、それだけに力配分があさっての方向に何故向かってしまったのかという…。色々言われるのは覚悟しております。ごめんなさい。力不足でした。

次回はこの続編を描きます。後はエロシーンのみなので、ガンガンいけるかと思えます。ここから先が本当にエロいんです。ちょっとネーム構成も見直して次回はもっと詰める所は詰めて行きましょう。

というわけで、情けない新刊を出してしまいましたが、もしそれでもお付き合い頂けるのなら次回も…、いや次回こそよろしく願います。

そして最後に、急遽アシスタントに入って今回の原稿のピンチを救ってくれたあじぽっぼさん、本当にありがとう。このページのイラストと扉絵も描いてくれました。

かわいいサンタちゃんを有難う！

### ■奥付

タイトル  
ふたなりサンタちゃんゆお！  
初版発行 2010. 12. 31  
サークル .7  
作者 DAWY  
アシスタント あじぽっぼ  
<http://dot7.sakura.ne.jp/dawy/>  
印刷 ねこのしっぽ





## ふたなり+触手ジャンルの問題点

『ふたなり+触手こそが至高のエロスである！』という事は前回の裏表紙にもかきました。しかしそんな至高のジャンルにも弱点はあります。それは『言葉攻め』です。

触手ジャンルには生体モノ、機械モノと多種多様な表現はありますが、その多くは言葉を発しない怪物です。（勿論例外もあります） どうせ女の子を犯すなら…、やはり身体だけでなく言葉も使って、肉体的だけではなく、精神的にも追い詰めていきたいッ…！ そしてどうせ罵られるのなら異形の怪物よりも、かわいい女の子に徹底的に罵られたいッ！（殆ど個人的な願望です）

さて、それならばどうすればいいのか？ 答えは簡単です。女の子の敵キャラを出せばいい！ …簡単な事です。そんなわけで今回のサントラちゃんから敵役に女の子が登場します。表紙のキャラがその一人というわけです。

問題点とは書きましたが、大きな問題ではありませんでしたね。そりゃあそうです、これはそれ程にふたなり+触手ジャンルが優れているという裏づけなのです。

…ただ、今回は登場までで、活躍するのは次回からとなりますが。ごめんなさい（汗